

『セルラス新メンバーの声 PART5』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第 29 号

6/15(水)に、関東スーパーピアザがありました。以前メルマガでもご紹介した、外務省の日本語パートナーズ事業で、インドネシアに 9 か月派遣されていたセルラスメンバーの報告がメインでした。

(セルラスホームページにもレポートが載っています→<http://www.celulas.or.jp/indonesiaRPT.html>)

パワーポイントの写真や絵を見ながら、インドネシア語で報告してくれました。驚いたのは、彼女の伝える力です。ジェスチャーや表情、声の抑揚など、みんなに分かるように丁寧にテンポよく話すさまはとても素敵でした。

ほぼインドネシア語で話してくれたのですが、話してくれたことのほとんどをそこにいるみんなが理解していました。聞く方も話す方も、どちらも分かり合いたいと思っていたからかなと思いました。セルラスの活動を通して、“世界に通じる力”が培われていくことを改めて実感しました。

※セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメルマガと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

◇◇セルラスに入会して ～新メンバーの声～◇◇

只今セルラスでは、各地でセルラスの活動を体験していただけるオープンセルラス(体験会)を開催しています。新しい方との出会いをメンバーみんなで楽しみにしています。今回は今年 1 月に入会した新メンバー、曾我さんの声をお届けします。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第 29 号の目次です。

【 目次 】

≪1≫ 新メンバーの声

神奈川県川崎市在住 曾我さん

≪2≫ セルラスインフォメーション

≪1≫ 新メンバーの声

神奈川県川崎市在住 曾我さん

家族構成:夫、長女(中 1)、次女(小 4)

Q1. なぜ、多言語教育セミナーを聞きに行こうと思いましたか？

ある日、娘が学校から持ち帰った手紙の中にセミナーの案内があり、そこにあった「コミュニケーション力」という文字に目を奪われました。

なぜかという、当時、学校で対人関係に悩みを抱えていた長女に不足していて、今後、最も必要とされる力の一つが、「対人コミュニケーション能力」だと思っていたからです。

学校や家庭以外でもコミュニケーション力を伸ばせる場所や環境があり、そこで少しでも娘が自信をつけることができたらどんなに良いだろうと、漠然とした望みを持ち始めました。

一方、私達家族は人種のるつぼと言われるニューヨークに3年弱暮らし、多文化については多少でも垣間見ることができました。その影響か、日本でも再度そのような環境に触れてみたいという、私の個人的な理由もありました。

Q2. セミナーを聞いて、体験会(オープンセルラス)に行ってみようと思った決め手はなんですか？

理事長の講話は、今後求められる人材についてなど、どれも大変興味深く、また大いに共感できました。コミュニケーション力や違いを受け入れて共感する力を育てていこうとするセルラスの基本理念に感銘を受けたと同時に、それらを手に入れるため、多言語を通して行う様々な活動に大変魅力を感じました。また、体験談を披露してくれたピアザメンバーの生き生きとした表情も、とても印象に残りました。親や先生が教えるわけでもなく、セルラスの活動を通してお子さんが自ら感じ、考え、自分の意見を持つようになったというようなお話を聞いて、益々興味が湧いてきました。

セミナーを聞く前は、この活動はもしかしたら長女にとって良いかもと思っていましたが、実は自分自身や次女にとっても良い影響を及ぼすかもしれないと考え、家族で体験会に行こうと決めました。

Q3. 体験会后、入会しようと思ったのはどんなことからですか？

コーディネーター、ピアザメンバー全員の温かい人柄が分かったことが一番の理由です。どんなに基本理念がしっかりしていても、毎週顔を合わすメンバーと良い人間関係が築けなければ、活動すること自体いざれ遠のくでしょうし、それではあまり意味がないので、体験会に参加する前はそこを少し気にしていました。が、しかしその心配は全く不要でした。最初から私達家族を温かく迎えてくれて、すぐに仲間に入れてくれました。

その時、正直驚いたのが、子供も大人と対等に自分の意見を主張し発表していたことです。しかもとても楽しそうに。

今までこのような光景は目にしたことがなかったので、ある意味、衝撃を受けました。

恥ずかしながらの初めてのロールプレイ時にも、お子さんの方から声をかけてくれたことがとても嬉しくて、今でも心に残っています。

一番気がかりであった長女の反応もまあまあ良く、何よりも初対面のメンバーのお母さん方が、短い時間の中で彼女の長所をきちんと見だし、褒めてくれたことに感動してしまいました。

過去の経験上、新しい環境下へ長女を連れ出すことについて臆病になり敬遠しがちでしたが、ここでなら親子共にのびのびと活動できるはずと確信に近いものを感じ入会しました。

Q4. 入会して、どうですか？また、これからの活動への期待はなんですか？

早くも入会して半年になろうとしています。毎週のピアザは楽しく参加させていただいています。

あとはCDを聞く、シャドーイングする等、ピアザ以外でもセルラスの環境を進んで作り、習慣化することが現在の課題です。

今後、惰性や大きな壁が立ちはだかる時も幾度となくやってくることでしょうが、スーパーピアザなどを通してメンバーの体験談を聞いて刺激を受けたり、悩みを仲間と分かち合うことで少しずつでも前に進んで行ければ良いと思っています。とにかく楽しみながら、積極的に活動に参加していきたいです。

《2》 セルラス・インフォメーション

◆ 2016 年 多言語教育講演会・セミナーのお知らせ ◆

春～初夏の講演会・セミナーは好評のうちに終了しました。次回は秋に各地で開催する予定です。開催が決まり次第、お知らせしていきます。

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。